



福井県PTA No.118

2019 SPRING



発行者 福井県PTA連合会 会長:宇佐美 嘉一 広報委員会
発行所 〒918-8135 福井市下六条町14-1 (福井県生活学習館2階) TEL 0776-41-4253 FAX 0776-41-4333
H P <http://www.fukui-pta.jp> (公社)日本PTA全国協議会 <http://www.nippon-pta.or.jp/>
E-mail mail@fukui-pta.jp

※今回の表紙は、各ブロック内で開催された事業の写真を掲載させていただきました。

坂井ブロック「子育て研修会 親子で創作体験」
坂井地区合同事業 (金津創作の森)



福井・永平寺ブロック「ふれあいコンサート」
福井市PTA連合会 ©ブロック (ハーモニーホールふくい)



平成30年度 福井県PTA連合会 スローガン

家庭・学校・地域が共に 交わり結び合おう

～子どもたちの笑顔あふれる未来のための『結』～

INDEX

会長あいさつ P2 / 福井県PTA連合会研究大会 P2～P5 / 一筆啓上・わが家の三原則 P6～P7
東海北陸ブロック研究大会・教育環境整備に関する請願活動・日本PTA創立70周年記念式典 P8
知事と県PTA連合会役員との懇談会・こんなことやってます P9
安全会通信・PTAゆめ基金・広報紙づくり講習会告知・編集後記 P10

奥越ブロック「教育講演会」
勝山市PTA連合会 (勝山市教育会館)



丹南ブロック「キャリア教育勉強会」
越前市PTA連合会 (越前市福祉健康センター)



嶺南ブロック「グラウンドゴルフ大会」
敦賀市PTA連合会 (リラ・グリーン)



PTA活動中の事故の防止を。万が一事故が起きたら、一報を。

福井県PTA連合会安全会 ☎0776-41-4253 (届出は30日以内)
申請の手続きや書類様式等は、県P連ホームページ上に掲載してありますので、ご利用下さい。



安全会通信

福井県PTA連合会 安全会

「安全会」からのお知らせ

■県P連「安全会」は、皆様が安心してPTA活動に参加できるよう、活動中の事故等に対して見舞金を給付する安全互助事業をおこなっていますが、今回、平成10年度以降報告頂いた怪我・事故の状況、見舞金等の支給状況についてお知らせいたします。

■安全会員数の推移は？

平成10年 約7万4千人→平成30年 約5万8千人(約1万6千人減少)
※少子化による児童・生徒・PTA会員の減少による(グラフ①参照)

■支給対象となった災害発生報告と「見舞金」支払状況

○災害発生報告の状況

- ・災害報告件数(H11～H29)・・・年平均4.4件(最多6.4件:最少2.5件)
- ・男女別割合 男性4.8% 女性5.2%
- ・年齢別件数 30～40歳代が70%を占める
- ・地区(ブロック)別発生状況(グラフ②参照)
- ・傷害内訳:足首捻挫、肉離れ、靱帯損傷、アキレス腱断裂等
下半身の傷害が90%を占める(グラフ③参照)
- ・活動内容:「ソフトバレーボール(練習・大会)」による
傷害が50%以上を占める(グラフ④参照)

○「見舞金」支払状況の推移(グラフ⑤参照)

平成10年 2,344,000円

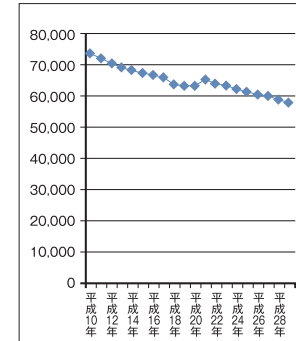
平成19年 10,101,000円

平成29年 516,000円

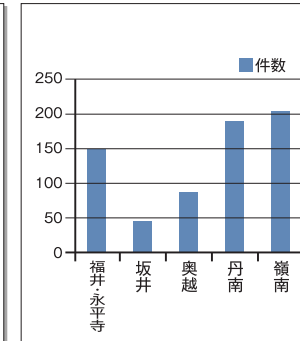
※10年間の年平均支払額→815,500円

(※保険業法の一部改正を受け18年度より賠償責任保険は民間委託になる)

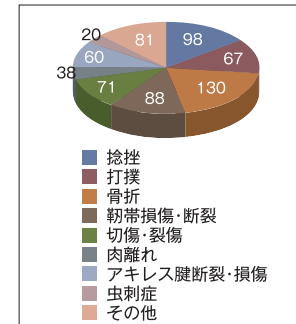
グラフ①



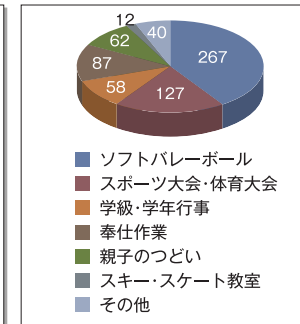
グラフ②



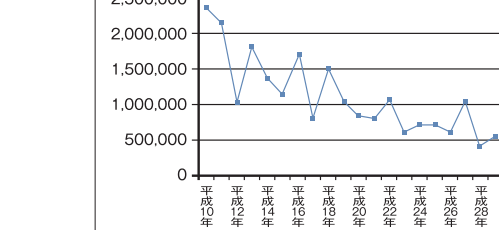
グラフ③



グラフ④



グラフ⑤



上記のように、PTA活動での様々な事故などに対応していますが、スポーツ交流事業での事故が特に多く発生しています。事故を防ぐためにも準備運動などをしっかりと行い、楽しく親睦を深めていただけることを願っております。すべての活動において、事故の未然防止のための対策をご検討いただけることで、参加者の皆様の意識向上にも繋がります。規約・給付対象などについては、県P連ホームページ上でもご覧いただけます。充実したPTA活動が円滑に行えるよう、参考にいただければ幸いです。

編集後記

福井県PTA連合会での様々な取り組みを皆様に知っていただくと思い活動するなかで、私自身も多くのことを学び、素晴らしい縁をたくさんいただきました。皆様も今年度のPTA活動で「共に交わり結び合おう」ことができた繋がりを、次年度にも活かしていただければと思います。最後に、今号の広報紙作成に際してご指導ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！
広報委員長 岩原 義明 (鯖江市中央中学校)

お知らせ

PTAでの広報紙作成に携わる皆様のために、広報紙づくり講習会を開催します。県P連事務局より各校PTAに案内をさせていただきますので、多くの方の参加をお待ちしております。

日時: 4月28日(日) 9時30分～12時
会場: 福井県生活学習館 学習室101・102号室

PTAゆめ基金「書き損じハガキ収集」

今年度も会員の皆様にご協力をいただいて書き損じハガキの収集を行います。以下のような支援活動を行っています。

- ① 有意義な活動をする単位PTAの支援
- ② 児童・生徒数30人以下の単位PTA活動の支援
- ③ 県内の特別支援学校に対し「特別支援教育」を支援
- ④ 災害被災時などに活動の支援
- ⑤ 経済的理由で小学校に就学できないアジアの子どものための就学支援
- ⑥ 県PTA活動の基金

貴重な支援金の原資となりますので、今後ともご協力をお願いいたします。



▲事業時のハガキ収集 (福井市PTA研究大会)

第60回 福井県PTA連合会研究大会

文部科学省委託事業 ネットモラルキャラバン隊

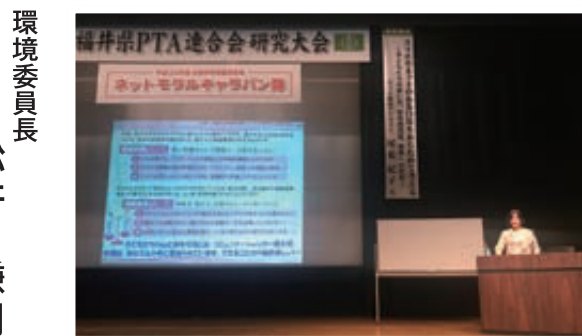
平成30年12月1日(土) 福井県生活学習館

分科会

“子どもとネット”について ～ホンネで話そう、ホントを知ろう～

ネット教育アナリスト 尾花 紀子 氏

第1分科会 環境委員会



環境委員長

松井 謙司

(小浜市立 小浜中学校)

第1分科会では、「子どもとネット」について「ホンネで話そう、ホントを知ろう」というテーマのもと、全体会に引き続きネット教育アナリストの尾花紀子氏を講師に迎え講演していただきました。最初に基調講演、セミナーを行いその後、対話形式で意見交換を行い、壇上下でコーディネーターの茨城県メディア教育指導員連絡会会長の堤氏と安心ネットづくり促進協議会顧問の曾我氏がマイクを持ち、3名の掛け合いの中進行していきまし

た。委員会では、講師が話すだ



けの一方的な講演ではなく、会場と交えながら意見、質問をいただきながら、参加者の皆さまに寄りそった内容となるよう、又、ネット関連のさまざまな問題を少しでも解決できる一助になればと思います。アンケートでは、さまざまなご意見がありました。ご意見が豊富になったという声が多く、家庭で話し合うことや人間関係の形成が大切など、家庭での教育、取組みの重要性を感じられました。今回の分科会では、ご家庭やPTA活動で少しでもお役立ていただければ幸いです。

感想・考察

全体会に続き、講師の尾花紀子様からネット関連についてさらに詳しい講演を聞かせていただきました。

家族間・友人間でのコミュニケーションが円滑にできることが大切で、周りとの情報共有や意識向上をしながら、考えて機器を使用すること、また気軽に相談ができる親子関係も重要であることを教わりました。

生まれたときからインターネットが身近にある子どもたちと接するため、私達も労力を惜しまず、共に学びながら教えた分科会でした。



ネット使用のルール

●各家庭でのルール作りや幅広い情報発信など、PTAでもできることを検討し、意識向上を目指すことが大切。

使用済み端末・共有端末の管理

●大人が使っていたものをそのまま渡すのではなく、チェックをしてから渡すこと。アプリの対象年齢を確認して適さないものや、クレジットカード情報などは確実に削除するとともに、フィルタリング設定を再確認して、保護者の端末で利用状況を管理することも重要。

アプリ等の利用状況は、スクリーンタイム(iOS用)・ファミリーリンク(Android用)などでも保護者側で管理可能。

端末のフィルタリング

●18歳未満が使用するにはフィルタリングの導入が義務化されているものの、現状は44%程度。また犯罪被害にあった子どもたちの90%以上が、フィルタリングを解除していた。購入時には、販売店で「子どもが使う」ことを伝えて設定してもらい、パスワード等も保護者側でしっかり管理することが大切。

ポイントがポイント！

- 子どもたちの安全なインターネット利用のために、保護者自身も共に学び、サポートをすることが大切。
- 子どもの成長に合わせてフィルタリングを利用し、家庭内でのスマホルールは親子で話し合って納得のいくものにするのが望ましい。
- インターネットは日々刻々と変化していくため、犯罪被害も私達保護者の想像を超えていくものになってしまっている。
- 親として最新の知識を持つことが難しいと感じても、常に慎重に取り組むことはできる。
- 子どもたちの規範意識を育て、善悪の判断ができる子を育てること、そして家庭内でも子どもたちが相談しやすい環境づくりが重要。

ポイントがポイント！

基調講演においては、スマホやネットのある日常をあらためて考える子どもたちの使い方・社会的背景・将来への布石と題して、ネット教育アナリストの尾花紀子様から講演をしていただきました。今の子どもたちはスマートフォンやインターネットを利用しないまま大人になることは不可能に近く、子どもたちが便利に、かつ安全にインターネットを利用できるようにするまで、保護者として子どもと一緒に知識を増やしてサポートをすることが必要であると感じた、素晴らしい講演でした。

第60回 福井県PTA連合会研究大会

文部科学省委託事業 ネットモラルキャラバン隊

平成30年12月1日(土) 福井県生活学習館

全体会



第60回 福井県PTA連合会研究大会が開催されました。開会式に続いて、一筆啓上・わが家の三原則受賞者への表彰式が行われ、素晴らしい作品の紹介とともに表彰をさせていただきました。

全体会においては行政説明では、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課安全推進室の佐々木浩様から、青少年のスマホやインターネットをめぐる問題に関する取り組みと題しての具体的な話をしていただきました。また、警視庁生活安全局少年課係長の菊池光秋様からは、ネットを通じた子どもの犯罪被害についての説明があり、ネット犯罪に関わる現状を聞かせていただきました。



ご挨拶

福井県PTA連合会

会長 宇佐美 嘉一

(福井市 桑小中学校PTA)

本年度も県PTA連では各委員会を中心に各種事業に取り組みんで頂きました。

生涯学習委員会担当の「家族と子の心のメッセージ」に、過去最高の1万8千通に迫る応募を頂きました。この活動を通して親だけでなく祖父母や兄弟など家族同士で考えを出し合い心の会話を行うことで、各家庭の生活習慣の確立や、家族の絆を深めて頂けたのではないかと信じております。

また、12月に開催し500名弱の会員の皆様に参加を頂きました研究大会では、文科省委託事業「ネットモラルキャラバン隊」を開催し、全体会では講演を通じ子どもたちの周りにスマホやネットのある日常をあらためて保護者として考えて頂きました。そのあと環境委員会担当の第1分科会「子どもとネット」について「ホンネで話そう、ホントを知ろう」。総務委員会担当の第2分科会「個人情報保護法の基礎知識」。子育て委員会担当の第3分科会「時間短縮のできる成長期の子どもの栄

養バランスを考えた食事について」の3つの分科会に分かれ学んで頂きました。参加頂いた皆様は何か一つでも気づきを持ちかえって頂いたのではないかと思っております。

そして、広報委員会では、広報紙発行やホームページの更新を行い県PTA連の活動を皆様に伝わるよう努めて頂きました。広報紙の中に特別委員会取組みの請願内容を掲載したことにより例年より多くの署名数を頂き、県議会へ請願を行え内容が採択して頂きました。

このように多くの活動を行えたのも、関係皆様のご支援のおかげと深く感謝申し上げます。今後も県PTA連では私たち保護者と教師が共に手を携え、学校・家庭・地域が結び合い相互の役割を理解し連携を図り、子どもたちと関わり育てていきたいと思えます。

今後も子どもたちが楽しく充実した学校生活を送れるようPTA活動に、皆さまの大切なお時間とお力をいっしょに注いで頂けるようお願い申し上げます。

第60回 福井県PTA連合会研究大会

文部科学省委託事業 ネットモラルキャラバン隊

平成30年12月1日(土) 福井県生活学習館

分科会

「時間短縮でできる成長期の子どもの栄養バランスを考えた食事について」

管理栄養士 野路 直美 氏

第3分科会
子育て委員会

子育て委員長
和田 晃幸

(勝山市立 成器南小学校)



第3分科会では「時間短縮でできる成長期の子どもの栄養バランスを考えた食事について」というテーマのもと、ふくいの食育リーダーとして多方面で活躍されている、管理栄養士の野路直美氏を講師に迎え講演をしていただきました。

第1部では、野路先生による栄養バランスの基本的な考え方と、調理の時間短縮の基本的な考え方や、方法について講演していただきました。その上で第2部では、4、5人のグループに分かれてワークシヨップ形式で、各家庭の現在の食事のあり方や、普段の食

感想・考察



第3分科会では「時間短縮でできる成長期の子どもの栄養バランスを考えた食事について」というテーマで、ふくいの食育リーダー

活について話合っていました。リラックスして話をしていたために、委員会では、栄養バランスを考えたケーキ・サレとスミージーゼリーを用意しました。そのおかげで、参加して頂いた皆様が、リラックスした雰囲気のもと、笑顔で活発な話し合いをしていたのがとても印象的でした。最後になりましたが、この分科会に参加して下さった皆様の食事の栄養バランスが少しでも改善され、お子様の健康やかな成長につながっていく一助になれば幸いです。



の野路直美氏の講演でした。

野路先生による栄養バランスの考え方と、調理の時間短縮方法について講演していただきました。また、5人のグループに分かれてワークシヨップ形式で、食事のあり方や、普段の食生活について話合いました。担当委員会の皆さんが試作いただいたケーキ・サレとスミージーゼリーを食べながら楽しい雰囲気の中話し合いができました。

わかりやすく質問にも答えていただき、食の重要性や、栄養バランスを考えた時短料理で成長に必要な物を手軽に素早く得る術を勉強できました。



「育てたい力」
様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身につけ健全な食生活を実践できる力を育むこと

- 食育とは
- 心と身体の健康を維持できる
- 食事の重要性や楽しさを理解する
- 食べ物の選択や食事づくりができる
- 一緒に食べたい人がいる
- 日本の食文化を理解し伝えることができる

栄養バランスのよい食事をする

「6つの基礎食品」3つの食品群

- 食品は、それぞれのもつ栄養素(炭水化物・タンパク質・脂肪・ビタミン・C・カロテン・カルシウム)によって6つのグループに、働き(体をつくる)も異なる。調子を整えるものになる「エネルギー」のものになる。よって3つのグループに分かれ、それぞれのグループから食品を選び組み合わせることで、栄養バランスのとれた食事ができる。

時短のレシピ

- 献立のパターンを作る。栄養バランスの色で食材を選ぶ。合わせ調味料を活用する
- 使う調理道具は使いやすいところに置く・まとめ買い、まとめ焼き、ついで加工をする
- 乾物や缶詰は少し多めに備蓄しておく。料理の段取りを分ける(下準備と作り方)

第60回 福井県PTA連合会研究大会

文部科学省委託事業 ネットモラルキャラバン隊

平成30年12月1日(土) 福井県生活学習館

分科会

「個人情報保護法の基礎知識」

慶應義塾大学 S F C 研究所
上席所員 寺田 眞治 氏

第2分科会
総務委員会

総務委員長
宮下 泰浩

(福井市 美山中学校)



第2分科会では「個人情報保護法の基礎知識」というテーマのもと、慶應義塾大学 S F C 研究所上席所員である寺田眞治氏を講師に迎え講演をしていただきました。

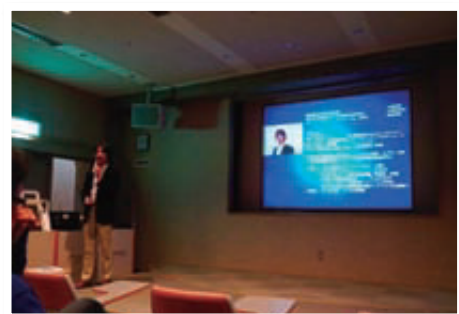
今年度の総務委員会では「個人情報保護法」対応を主軸に例年になく分科会を担当する事となりました。PTAでの「個人情報保護法」対応に際し、先ず「個人情報保護法」の基本を学ぶ場を提供することを分科会の目的とし、寺田先生に講演を依頼いたしました。先ずは基本から始まり、後半ではPTA用に組み立

感想・考察



今回、第2分科会で寺田先生の講演をお聞きして、個人情報保護法はPTAにとって非常に重要なことであることを強く認識しまし

てもらった内容を講演いただきました。今回の講演で、単Pと学校との話し合いが必要であると再認識いたしました。今回の県Pではきつかけとして基礎知識を学んでいただきましたが、今後は各郡市Pにて広げていただき、さらに単Pにて各々が検討・対応をしていただきたいと思います。今回の分科会が、各郡市Pへの、そして各単P活動のお役に立てれば幸いです。



た。

個人情報保護法と聞くと私たちはどうしても堅いイメージで捉えてしまいがちです。確かに法律です。で細かい条例の区分けや専門的な部分もありますが、要点を押さえれば知識を身に付けられれば結構構えることはないのです。

個人情報を扱う上で重要なのは、法律に基づいて正しい捉え方で正しい順序を踏み行動することです。このことを個人情報に扱う私たちが常に心がけていければ円滑に物事が進むことでしょう。

今回の講演で個人情報に扱う観点において、自分自身が数段レベルアップできたと思える講演になりました。

「ポイント」
個人情報保護法はすべての人や組織が保護に努めることが求められる。細心の注意を払って間違った使い方や漏えいを起こさないようにする。

- 個人情報保護法は法律に則って行うことが基本。しかし法律を詳細まで理解するのは難しい。
- PTA内で取り扱う方を決めて、その方を中心に専門家に相談しながら対応する。
- 学校とPTAは独立した組織の為、個人情報を取り扱う場合には第三者提供に該当する。
- 十分に相談して取扱いに関するルールを明確にし関係者に周知徹底することが重要。
- 法律を遵守し、管理に気をつけていても絶対ということはない。
- 重要なことは個人情報の大切さを常に意識し、取扱いに関しての点検を行う。



一筆啓上・わが家の三原則

家族の温もりを感じる
17942点の応募

生涯学習委員長
廣嶋 嘉一
(坂井市立 長畝小学校)

生涯学習委員会では、家庭での生活習慣のきまりと家族間のメッセージを募集した「一筆啓上・わが家の三原則」の取り組みを行っています。
この取り組みも、今年で11回目となり、今年度も県内261の小中学校から、昨年度より1100点以上多い、17942点と過去最高の応募がありました。
応募作品はどれも、家庭・家族の温もりが感じられるすばらしいものばかりでした。その中から、会長賞2点、生涯学習委員会賞2点、優秀賞6点、入選20点を選考。平成30年12月1日に開催された県PTA連合会研究大会で表彰式を行いました。



表彰式の様子



小学生の部 入賞者の皆さん



中学生の部 入賞者の皆さん



受賞者とともに入賞作品を紹介



会長賞

福井市 至民中 2年

子氏名 都路 あかり
保護者氏名 都路 えつこ

三原則

- ①みんなでごはん
- ②元気にあいさつ
- ③相手の気持ちを考える

一筆啓上

お母さんへ
「くそ」とは思ったことはあるけど、「クソババア」とは思ったことないから安心して下さい。

あかりへ
もしもこの先「クソババア」と思う時期が来たら、成人するまでの間だけです。安心して下さい。

生涯学習委員会賞

福井市 明倫中 2年

子氏名 きたて 梨桜
保護者氏名 きたて 恵美子

三原則

- ①「時間」は守るもの
- ②「感謝」は伝えるもの
- ③「笑顔」は返ってくるもの

一筆啓上

笑ったり、怒ったり 毎日が忙しい娘へ
待てました反抗期！その調子で自立への道、自分を信じて進め！どんな時も振り返れば、母は見守ってるぞ！

ママへ
はい、反抗期です。反抗期でも三原則は守っていきます。

会長賞

坂井市 春江東小 6年

子氏名 にしざわ 奈留
保護者氏名 にしざわ 慧美

三原則

- ①正しいことをする勇気
- ②誤りを正す勇気
- ③自分を信じる勇気

一筆啓上

お母さんへ
お母さんに叱られるとダメだな。と思うからこれからは、叱られる時よりほめられるのを多くするね。

娘へ
叱るのも喧嘩をするのも、娘だからです。どんなに生気でも、かわいい笑顔の為に母は頑張っています。

生涯学習委員会賞

越前市 大虫小 3年

子氏名 たかやま ゆづき
保護者氏名 たかやま 幸子

三原則

- ①かなしいことは半分、楽しいことは3倍に！
- ②ギザギザ言葉はつかわないように！
- ③うそはつかず、正直に！

一筆啓上

お母さんへ
ギザギザ言葉がとんでくると、わたしの心もギザギザになるよ。だからポカポカハートがいいよね。

ゆづへ
いつの間にかママの心もギザギザだったよ。気付かせてくれてありがとう。めざせポカポカハートだね。

優秀賞

福井市 明道中 1年

子氏名 こじま 千晶
保護者氏名 こじま 真琴

三原則

- ①うれしいことがあったらみんなで喜ぶ
- ②つらいことがあったら一人で抱えこまない
- ③いつも家族がそばにいることを忘れない

一筆啓上

お母さんへ
一人で考えていると、誰かに話すとどれだけ気が楽になるかわかる。どんな話も聞いてくれてありがとう。

千晶へ
誰かに話すだけで、喜びは倍になり、悲しみは半分に減った気がするね。母の話も聞いてくれて、ありがとう。

優秀賞

あわら市 金津中 1年

子氏名 いなだ 瑠花
保護者氏名 いなだ 智美

三原則

- ①感謝の気持ちを忘れずに。
- ②すなおで正直に。
- ③明るく笑顔で。

一筆啓上

お母さんへ
いつの間にか、お母さんの身長追い越したよ。くやしそうなお母さん。

瑠花へ
家族の中で身長が一番小さくなったお母さん。その調子で瑠花の心も成長してくれるといいな。

優秀賞

南越前町 南条中 1年

子氏名 たにざき 怜生
保護者氏名 たにざき 悦子

三原則

- ①心に余裕を！6秒ルール
- ②時間に余裕を！5分前行動
- ③心体に余裕を！しっかり食べて、十分休む

一筆啓上

母へ
最近、時間ギリギリで、ハラハラさせてばかりでごめん。あと、最近言えてないけど、いつもありがとう。

怜生へ
こちらこそ、いつもお手伝いありがとう。脳・心・体が疲れたら深呼吸してリラックス。毎日、おつかれさま。

優秀賞

美浜町 美浜東小 1年

子氏名 きしもと 峯本 さな
保護者氏名 きしもと 千鶴

三原則

- ①たすけあう
- ②かいわする
- ③くをしない

一筆啓上

ママへ
じいじとばあばといっしょにみんなでくらせて、たのしいね。あったかいぞくだね。みんなでがんばったね。

さなと家族みんなへ
大家族で、毎日にぎやかに過ごすことができてありがたいね。助けてくれた周りのみんなに大感謝だね。

優秀賞

福井市 清水西小 2年

子氏名 たなか りあ
保護者氏名 たなか ゆうこ

三原則

- ①「ありがとう」感謝の心。
- ②「いってきます」元気な声。
- ③「大丈夫？」気配る優しさ。

一筆啓上

おかあさんへ
いつもおやわんをあらってくれてありがとう。せんたくもみんなねているときせんたくしてくれてありがとう。

娘へ
ありがとうと言ってくれてありがとう。家族の分の洗濯やお茶碗お皿洗うときは、ママの幸せなじかんよ。

優秀賞

福井市 明新小 3年

子氏名 なかで あいら
保護者氏名 なかで まどか

三原則

- ①ありがとうはえ顔をそえて
- ②ごめんなさいは気持ちをこめて
- ③すなおにつたえる大切な

一筆啓上

ママへ
はすかしいきもちとおこられたくないきもちでごめんなさいが言えなくてごめんね。すなおってむずかしいね。

愛来へ
ありがとうは言えるけど、顔がひきつっているよ。笑顔で笑顔で。ごめんなさいは苦手だね。今から今から。

入 選

福井市 清水中 1年	子氏名 野尻 悠大 保護者氏名 野尻 晃生	勝山市 勝山南中 1年	子氏名 廣田 真佳 保護者氏名 廣田 めぐみ	越前市 武生第三中 1年	子氏名 まつだ 咲来 保護者氏名 まつだ 富士子	福井市 成和 2年	子氏名 宇坪 宇坪 保護者氏名 宇坪 江美
福井市 明倫中 2年	子氏名 尹 泰優 保護者氏名 尹 ゆう	あわら市 金津中 2年	子氏名 梶田 虎汰郎 保護者氏名 梶田 み紀	坂井市 春江中 3年	子氏名 小林 未奈 保護者氏名 小林 好美	坂井市 坂井中 3年	子氏名 はんた 桜華 保護者氏名 はんた 里美
越前市 武生第二中 3年	子氏名 赤田 百香 保護者氏名 赤田 謙司	南越前町 南条中 3年	子氏名 永田 紅実 保護者氏名 永田 順子				

入 選

福井市 日の出小 1年	子氏名 近江 誠 保護者氏名 近江 健	大野市 有終西小 2年	子氏名 廣瀬 凛愛 保護者氏名 廣瀬 幸治	鯖江市 吉川小 2年	子氏名 佐藤 丞 保護者氏名 佐藤 寛長	坂井市 三國北小 3年	子氏名 岩本 いちも 保護者氏名 岩本 奈津子
越前市 吉野小 3年	子氏名 橋本 梨央奈 保護者氏名 橋本 昌幸	鯖江市 吉川小 4年	子氏名 橋本 桜 保護者氏名 橋本 由紀子	福井市 河合小 5年	子氏名 牧野 稜央 保護者氏名 牧野 歌織	越前市 武生南小 5年	子氏名 大河 采加 保護者氏名 大河 大造
越前市 国高小 5年	子氏名 江端 航平 保護者氏名 江端 一恵	永平寺町 志比北小 6年	子氏名 尾西 龍 保護者氏名 尾西 しのぶ				

知事と県PTA連合会役員との懇談会



平成31年1月30日 県庁7階 特別会議室にて、西川知事、東村教育長、佐々木学校教育部、県教育関係の課の方々と県PTA連合会役員10名との懇談会が行われました。次の4つのテーマについて意見を交換し、要望をお伝えしました。

①登下校時・休日・放課後など子どもたちの安全について
回答 ヘルメット着用の条例化は、他県などの例なども調査し検討していきたい。また通学路歩道の除雪などは是非皆様の協力をいただきました。

②県立高校の環境整備及び部活動について
回答 英検の加点に関しては、次年度については現在の加点方法でやっていく方針である。校舎の老朽化対策は、大きな費用が掛かる問題であり総合的な検討をしている。部活動については先生への負担も考慮し、減少させる方向で考えている。

③発達障害の子どもたちに対する教育支援について
回答 福井県の先生は専門資格取得率が約58%と非常に高く、児童館なども専門知識を有しているスタッフが多く配置されている。引き続き確認をしていきたい。



④企業や役所・各種団体などへのボランティア活動に参加しやすい環境作りの推進について
 今後私達がPTA活動で取り組むべき点についても再考する機会となる。とても有意義な懇談会でした。お忙しい中、貴重な時間を頂きました。知事をはじめ関係各位に深く感謝いたします。行政とPTA、今後この双方が『共に交わり結び合って』いくことは、多くの子どもたちの笑顔に繋がることでしょう。

役員選出方法について ~次年度以降にPTA活動を繋げるために~

PTA役員選出方法については、それぞれの地域・現状に合った様々な取り決めをして行われているようです。輪番制にしておくことで、早めに次の役職候補者を相談できるなどの方法、また現会長が次年度の候補者をお願いしているなど、いろいろな形が見られますが、円滑に進まずに苦労されている場合も多いようです。今回は、県内各PTAでのいくつかの事例を紹介させていただきます。

あわら市金津小学校PTAでは、規約で役員任期を明記しておくことで入れ替わりを促し、多くの方が役員に携われるよう工夫をしています。また内容によって負担が大きい委員会活動の場合には、事業ごとに担当委員を決めて各世帯の負担を減らすなどの配慮もされています。

小浜市立遠敷小学校PTAでは、児童が2年生後半の時期に次年度役職者の選出を行い、順に要職に就けるような取り決めがあるそうです。数年先まで想定をして選出されることで、段階を経て活動を理解していくことができ、引き継ぎも円滑に行われているのだと思います。

1月に開催された福井市PTA研究大会では、情報交換会のテーマのひとつに、役員選出について、があり、関心を持つ多くの参加者によって意見交換がされていました。福井市文殊小学校の文殊校PTAでは、指名委員会を設けて次年度以降の役



職候補者に依頼をし、PTA活動に熱心な方を選べるようにするなど、事業の継続性を重視した取り組みも聞かされていました。

福井県PTA連合会では、次年度以降の委員会を再編して委員会数・理事数を削減し、活動のスリム化を図るとともに、さらに効率的な事業運営が行えるようにすることを目指しています。今までの上に福井県内の会員全てが一丸となって『結びあつていけるよう』ご理解とご協力をお願いいたします。

役員選出については、他にもいろいろなお案を検討されているという話も多いようです。各PTAでの活動内容を明確にして理解を深めることも大切であり、選出方法を考える際のヒントになるのかもしれないかもしれません。また、福井県PTA連合会のスローガンである『家庭・学校・地域が共に交わり結び合おう。子どもたちの笑顔あふれる未来のための『結ゆい』』にもあるように、子どもたちのために活動する熱意を繋げていけるよう、より良い形を求めて模索し続けることも大切な活動のひとつだと思います。

報告

第74回 日本PTA 東海北陸ブロック 研究大会 愛知大会



10月19日(金)・20日(土)に、愛知県で開催された「第74回日本PTA東海北陸ブロック研究大会 愛知大会」に参加しました。

19日には愛知県内6ヶ所ので分科会が行われ、第1分科会では坂井市立三国中学校PTAの皆さんによる研究発表があり、地元三國を愛する生徒達と地域が連携した取り組みが紹介されました。翌20日の

全体会では功労者表彰があり、橋前会長をはじめ福井県から多くの功労者の功績がたたえられました。続いての記念講演では、日本ベップトーク普及協会代理理事の岩崎由純氏を講師として「子どもの夢を支える『魔法の言葉』」の演題で、ことばの力とその重要性を熱く、そして楽しく語っていただきました。ポジティブな声掛けができるよう、耳だけでなく目と心でも「聴く」ことが大切など、子どもたちと接するときの意識が成長につながる感じた講演会でした。

2019年10月18日(金)・19日(土)には東海北陸ブロック研究大会三重大会が開催されます。多くの繋がりを『結ぶ』機会であるとともに、貴重な学びの場への参加をお待ちしております。



子どもたちの教育環境整備に関する請願活動



11月20日(火)、衆議院第1議員会館にて福井県選出国会議員の方々に請願活動を行いました。主な内容は「登下校時の安全確保」「発達障害の子どもたちの支援」「部活動のあり方」で、それぞれについて現状とともに今後の検討事項などを聞いていただきました。他にも多くの話を聞いていただき、子どもたちの環境づくりのために熱く語り合うことができた貴重な時間となりました。

日本PTA創立70周年記念式典

11月21日(水)ホテルニューオータニ(東京都)にて行われた、公益社団法人日本PTA全国協議会創立70周年記念式典に参加しました。皇太子ご夫妻も出席されるなか、福井県のPTAからも顕著な功績をあげられた多くの団体・個人に表彰が行われました。

式典に続いて、国立大学法人豊橋技術科学大学学長の太西隆氏を講師に科学技術・夢の実現と担い手の育成と題した記念講演があり、技術者・研究者を育成する立場からの現状と将来に向けての問題提起など、子どもたちの未来にも繋がる興味深い話を聞かせていただきました。



公益社団法人日本PTA 全国協議会 会長表彰 優良PTA文部科学大臣表彰 大野市乾側小学校PTA 福井市松本小学校PTA PTA活動振興功労者表彰 山本 久徳 田本 憲恭 橘 英重機 個人表彰 敦賀市立栗野南小学校PTA 福井市足羽第一中学校PTA 山田 由喜雄 嶋田 佳光 岡 勝之 丸岡 樹善	特別表彰 今保 政明 竹内 誠 長田 隆 栗原 泰道 田川 由佳代 高間 正人 佐々木 英江 天立 智恵 板倉 行規 大澤 正 小林 満只 高山 外喜代 河端 美嘉 上田 哲也 田辺 寛之
--	--

第40回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール
 文部科学大臣賞 小学校PTAの部
 福井市山山小学校PTA
 佳作 中学校PTAの部
 坂井市立丸岡中学校PTA